

第42回
2009年
4月13-15日
横浜で開催!

場所:

パシフィコ横浜
 神奈川県横浜市西区
 みなとみらい1-1-1
<http://www.pacifico.co.jp/>

大会事務局:

(社)日本原子力産業協会 企画部
 Tel: 03-6812-7101
 Fax: 03-6812-7110
 e-mail: 42nd-annual@jaif.or.jp
<http://www.jaif.or.jp/>

原産年次大会



毎春開催される原産年次大会は、世界の原子力産業界にとって、最大のイベントの一つ。原子力分野だけでなく幅広い分野の専門家1,500名が、国内外から一堂に集集します。

低炭素社会実現への挑戦 — 原子力は期待に応えられるか

当協会は、主要活動の一つとして、国内外から広く関係者の参加を得て、「原産年次大会」を開催しています。

年次大会では、エネルギー・原子力開発利用上の重要な問題についての意見発表や討論を行い、大会を通して得られた重要課題と、その解決策を見出すための指針を取りまとめ、国や産業界への問題提起、さらにマスメ

ディア等を通じて広く社会へ発信することを目的としています。

エネルギー安全保障と気候変動問題の解決の切り札としての原子力発電に対する評価が世界的に高まる一方、国内においてはさまざまな問題が山積しており、社会一般の原子力への評価は、十分に高まっているとは言えません。

このような認識のもと、第42回大会では、国際社会からの日本への期待に応えつつ、日本社会における原子力の位置づけを向上するため、原子力先進国・再開国・新規導入国など、各国の状況や関係者の取り組みを参考としつつ、原子力開発を着実に進める上でのが国および産業界の課題について考える場を目指します。

4月13日 (月)	4月14日 (火)	4月15日 (水)
	開会セッション (9:30-12:30)	セッション2 (9:15-12:15) 世界的な原子力利用拡大の中での日本への期待と役割
		午餐会 (12:30-14:15)
レセプション (17:30-19:00)	セッション1 (14:00-17:30) 原子力大国・経済大国における低炭素社会実現に向けた原子力発電への期待	セッション3 (14:30-17:30) 低炭素社会における原子力の役割

会場ロビーにて各種展示も実施

①国内各社の電気自動車が集結 (プラグインハイブリッドカーも含む)

トヨタ自動車(株) 日産自動車(株) 富士重工業(株) 三菱自動車(株)

②放射性廃棄物の地層処分について 原子力発電環境整備機構

③海の生き物との調和を求めて (財)海洋生物環境研究所



with NUCLEAR

LIGHTS ON